

猪口篤志先生を偲ぶ

11 期 関原昌和

28 期永田尚之君の「四時佳興」の碑石についての中に猪口先生のエピソードが書かれていましたので懐しく思い出されました。

猪口先生は昭和三十二年三十三年私達の担任でした。当時四十代初めの年令でチョビ髭をはやしており悠然とした雰囲気がありました。漢詩を読む時はゆったりとして中国大陸を思わせました。ノートは先生の考案した独特なものを使いました。

当時大東文化大学の教授も兼ねていると聞きました。部活は圧倒的に女子が多く人望が厚かったです。論語の講義もマイペースでやっていました。以前は漢詩創作の指導もやっていた様です。

三年の時のクラスは男子組で多分に反抗的な心で教師に接していました。ある生徒は先生の胸倉をつかんで停学処分になった事件もありました。先生は若い時柔道をやっていた様です。

昨年杉並区の今川図書館の書棚に「中国歴代漢詩選 猪口篤志(右文書院)」がのっているのを発見してとても嬉しく懐しく思いました。死して二十五年以上もたっているのに新刊として輝いていることに驚き今更偉い先生だったのだなあと思いました。悠揚とした声はいまだ耳に残っています。正門わきの「四時佳興」の詩文は先生の本の中にもありました。

秋日偶成 程頭

八行続く

先生は若くしてこの詩の悟境に達していたのだらうと思っています。七十代初めに亡くなられた様ですが同年の私自身と比べてすごい風格を感じています。卒業記念品として学友は「猪口(チョコ)」を送ろうと提案した事なども思い出されました。先生の字は本当に美しかったです。「中国歴代漢詩選」はいつまでも読み続けたいと思っています。今になって有難さをじっくりと感じています。

平成 25 年 4 月 20 日 誕生日 73 才